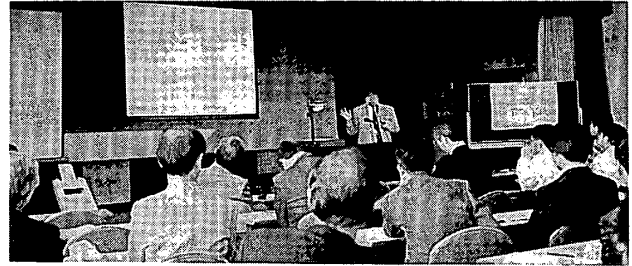


## 第35回シンポジウムルポ

宮田 雅智 (青山学院女子短期大学)



春季研究発表会に先だって、5月14日(火)小樽商科大学において第35回シンポジウムが開催された。

港を見おろす山の中腹に大学はあり、伊藤整や小林多喜二も「地獄坂」と呼ばれる大学に続く長い登り坂を息を切らせて登ったという。坂の途中には警察署と税務署があり、「地獄坂」と呼ばれる由縁はここからきているようだ、納得。

山肌にまだ雪が残っており、肌寒い日であったが40名の参加を得てシンポジウムが開催された。今回は、実行委員長 勅使河原可海先生(創価大学)、オーガナイザー川島幸之助氏(NTT)による「マルチメディアとその活用」というテーマで、5つの講演が行われた。

最初の講演は、甲斐荘泰生氏(さくら総合研究所)の「マルチメディア活用マーケットの現状と今後への期待」であった。情報のデジタル化は、大容量データ転送、大容量データ圧縮、大容量データ蓄積といった技術を駆使し、従来のメディアを統合した。それが従来のメディアの利用との根本的な違いであり、そこにマルチメディアの本質があったとした。このような状況は、マーケットにも大きな影響を与えた。家庭においても文字、オーディオ、映像などのアナログメディアのデジタル化により、ハードウェアの統廃合が進むことが予想される。また、デリバリコストの高い新聞、多チャンネル化を模索しているテレビ、商品価値の短命化による不良在庫と流通コストに悩まされている出版等、各メディアが抱えている問題点の解決に対しては、高度デジタル化技術とネットワーク技術の融合が重要であると結論づけた。

次は松井啓之氏(東京工業大学)の「自治体とネットワーク」であった。氏は自治体の情報化を情報集中処理(電算化)、電算機普及、高度情報化システム提唱、地域情報化模索、自主的情報化社会指向の5つの段階に分けそれぞれを概観した。第3段階で当時の電信電話公社が提唱したINSを機に地域ネットワーク構想がスタートし、1985年の電気通信事業の民営化を契機に自治体の情報ネットワークの模索が始まった。1993年のNII(National Information Infrastructure)、1994年GII(Global Inf. Infra.)構想の登場で触発され、地域生活情報通信基盤高度化事業が発表された。その中で“マルチメディアネットワーク”特に“インターネット”による地域情報化が目ざされてい

る、と結んだ。

3番目は渡部和雄氏(静岡県立大学)の「インターネットの教育への利用」である。教育の道具の大きな変化として“黒板とテキスト”から“パソコン”そして“ネットワーク”を挙げた。焦点は最後の“ネットワーク”である。ネットワークも最初は専用線や公衆網などによる利用であり、ツールとしては電子メール、電子掲示板が中心であった。ここでの経験から、コミュニケーション支援があれば、遠隔学習も効果的であり、さらに文字情報より情報量の多いマルチメディア教材を提示することによりさらに効果的運用ができた。それがインターネットの利用であると結論づけた。しかし、学校の現場に導入するには課題も多く、教材開発・環境整備・教員の研修などの問題を解決しなければならないことを指摘した。

4番目は、岸本登美夫氏(NTTエレクトロニクステクノロジー)の「マルチメディア時代に向けた情報通信ネットワーク」である。マルチメディアの基本要素は3C(Contents, Computer, Communication)であるとした。そしてマルチメディアネットワークとパーソナルコンピュータネットワークと同義語で論じられる現在、電話網に代わり、時代に即応した情報通信プラットフォームとして、ネットワーク、コンピュータ、サービスを効率よく統合するインターネットプロトコルによるOCN(Open Computer Network)を提案した。さらに、放送と通信を結合し、視聴者参加型の双方向的サービスを実現するJoyNetを提案した。

最後は榎並和雅氏(NHK放送技術研究所)の「放送をめぐるマルチメディアの動向」であった。「マルチメディア化」を「表現メディアの多様化」と「媒体としてのメディアの多様化」の2つに分類した。映像、音声情報のデジタル化により、さまざまな情報を統一的に扱えるようになり、結果として表現メディアが多様化した。またメディアを伝送媒体と捉えたとき、通信衛星、CATV、通信ネットワークなどの利用、すなわち、無線、有線、パッケージなど種々の媒体で伝送されるようになった。これは伝送媒体のマルチメディア化であり、多チャンネル化を実現する技術である。そして、利用者の期待として最も大きいアナログ方式ハイビジョンTVの開発を進める一方で、2つのマルチメディア化技術を基盤にしたISDB(Integrated Services Digital Broadcasting)を提案した。